

■地域別課題と取り組み

・八王子市における住宅施策の体系などを踏まえ、特に市内の特定の地域課題に対応して重点的に取り組むべき施策について、市民委員会での意見を中心に、展開が考えられる地域を抽出した。

(1) 公的住宅の再生に係る地域（昭和 40～50 年代団地）

【各地域の状況】

- ・都営住宅長房団地の建て替え事業が推進中である。（重点供給地域としての位置づけあり）
- ・UR 館ヶ丘団地は、昭和 50 年入居開始の団地であり、「集約型」の再生事業が位置づけられている。

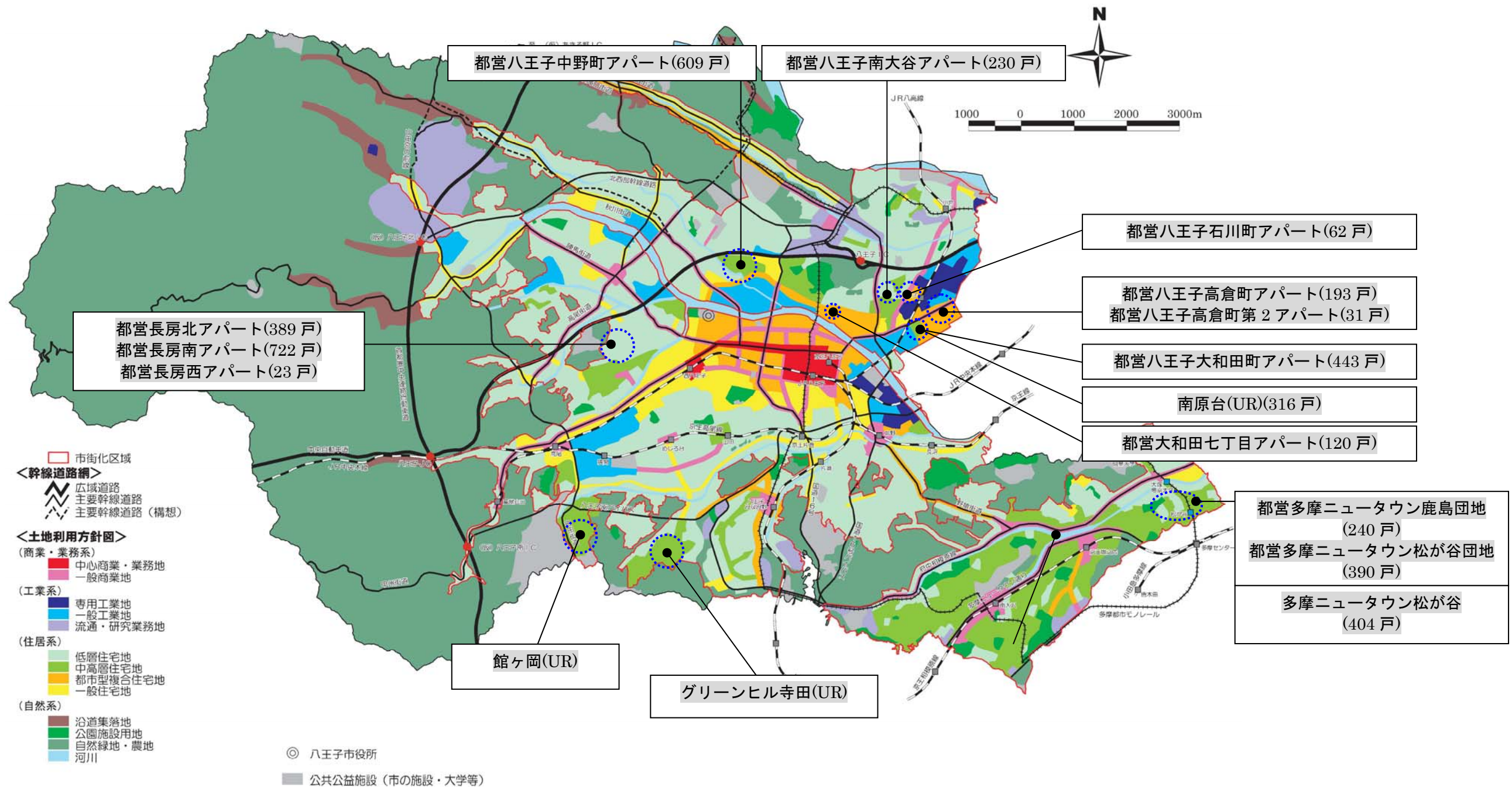
【課題】

- ・公的住宅団地は極端な高齢化が進んでおり、空き住戸が多くなってきている団地もある（UR 館ヶ丘など）
- ・高齢化等が進むことにより見守りなど地域福祉活動の推進が困難なケースも発生している。

【重点的な取り組み】

- ・公営住宅ストックを活用して、NPO 等の運営によるグループホームなどの整備推進（3-（1）-③）
- ・都営住宅の建て替え事業と市営住宅の再生を連携して効果的な推進を図る。（5-（1）-③）
- ・建て替えや再生事業に伴い発生する可能性のある余剰地を、地域課題に対応した効果的な活用を図る。（5-（1）-④）

※文中の番号は関連する施策体系(案)の番号



(2) 良好な戸建て住宅地の維持・向上に係る地域

(住環境保全型地区計画指定かつ面積概ね 10ha 以上の戸建て住宅団地 及び 地区まちづくり条例に基づく活動に取り組んでいる戸建て住宅団地)

【現況】

- ・昭和 30～50 年代に分譲された戸建てを中心とした住宅団地が多くある。
- ・それらの団地は、各住宅の敷地規模が大きく、緑豊かな優良な住宅地である。
- ・住環境の保全を中心とした地区計画が決定されている住宅地が多い。
- ・清川・太陽地域では、八王子地区まちづくり条例に基づく協議会の準備会が活動推進中である。地域住民の参加による公園づくり活動などが進められている。

【課題】

- ・住民の高齢化、空き家の発生などが進んでおり、空き家活用、住民組織等による生活支援策の推進が検討されている。

【重点的な取り組み】

- ・発生している空き家の活用や高齢者の居住環境の確保、住み替えニーズに対応した支援策などを推進する (3-(1)-④、3-(1)-①、4-(2)-③)
- ・公園づくりを通じた子育てしやすい住環境の整備 (3-(2)-①)

※文中の番号は関連する施策体系(案)の番号

